

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）  
事業活用活性化計画目標評価報告書

令和2年 9月28日作成

活性化計画名	多良岳西部3期地区 活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
大村市（代表） 長崎県	422053 420000	1	H26～H30	H26～R1
活性化計画の区域				
長崎県大村市多良岳西部3期地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率（%） B/A	備考
定住等の促進に資する農業 用排水施設等の機能の確 保	754ha	692ha	91.8%	

(コメント)

農地面積について、目標値754haから実績値692haへ減少し、目標には若干達成できなかったが、農産物生産活動、農産物流通、地域間交流の促進に寄与することができた。

(記入例) 交流人口の増加の場合

目標値A = (目標値/現状値) × 100 - 100、実績値B = (実績値/現状値) × 100 - 100

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
土地改良施設保全	農道の環境整備 交差点改良工 N=2箇所 歩道設置工 L=1064m 舗装補修工 L=741m		大村市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
大村市	平成26年度	令和元年度	
事業の効果			
平成25年4月から稼働している集出荷施設への大型車の交通量の増大に対し、交差点改良や舗装補修により農畜産物輸送時の荷傷防止をはじめ、通行車両の安全走行と円滑化に寄与することができた。 また、歩道を整備したことにより、農業体験者や集落居住者等、歩行者の安全確保に寄与することができた。			

### 3 総合評価

(コメント)

農道環境を整備したことにより、営農労力の節減及び生産効果が高まり、農畜産物の生産、流通、販売促進に効果が出ている。また、車両や歩行者交通の安全が確保されており、区域内の定住化促進と交流人口増加へと寄与することができた。

### 4 第三者の意見

(コメント)

当地区の農道環境が整備されたことにより、農畜産物の円滑な輸送が可能となったほか、車両・歩行者の安全が確保され、農園の収穫体験や直売所利用の歩行者が想定以上に増えており、観光客増に大きく寄与している。

また、区域内の人口も増加しており、山間部への移住・定住化の促進にも効果が発揮されている。

大村市グリーン・ツーリズム推進協議会 会長 山口 成美

#### 【記入要領】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
  - (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は、実施要領別紙5第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
  - (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果）を幅広く記入すること。
  - (4) 第三者とは「当事者以外の者」「その事柄に直接関係していない人」であり、計画主体、事業実施主体、管理主体のいずれの組織にも属さない者で事業地区を熟知している者。公務員は対象外とし、事業評価委員会等の組織を有する場合は積極的に活用すること。
- ※ 達成率等算出根拠（参考様式6添付資料）を必ず添付すること。